

平成26年度菊池市人権フェスティバル出品作品

【作文の部】特選

「自分が考えるいじめ」
菊池南中3年 吉田龍太郎

僕が、初めていじめを経験したのは小学校4年生のときです。そのときは、ただクラスの中の太っていた人からかってみんなをいじめていました。今思えば、そのときにどうすればよかったんだろうと思うときがあります。今だったら、「みんな声をかける」と言おうと思いますが、実際にいじめが起きてくるときに、それをいじめることができる人は、すごい勇氣と覚

悟を持っている強い人だと思えます。いじめには、絶対とは言いませんが、いじめと知った上で知らなかったふりをする人がいます。その人たちは、だいたい「いじめられたくない」「関わりたくない」など、さまざま理由で知らないふりをします。だけどそんなことをしてもいじめは終わりません。なら、誰が終わらせるの、という話になります。知らないふりをする人たちは「誰かがやってくれるだろう」とほとんど思っています。そう思うときに、「そうじゃなく自分が」と一歩踏み出し、

声をかけることができる人がクラスに一人でもいれば、いじめはなくなると思います。そして、その一歩を踏み出すためには、ゆるがない勇氣と覚悟がいるんだと僕は考えます。しかし、僕は中学校に入学し、いじめを自分自身がしました。

僕がいじめをしたのは中学校2年生のときでした。そのとき、今ニュースで問題になっているSNSが学校で流行っていました。自分も、SNSにはまり、勉強もせずに深夜まで会話をしていたこともありました。そして、その年の5月にある写真が投稿されました。それは、学年の同級生の写真でした。それを、SNSで投稿してきた人たちがコメントをしていきました。投稿してきた人たちは気付いていなかったのかもかもしれませんが、それは完全ないじめでした。同じく僕もそれがいじめだということに全然気がついていませんでした。

投稿された人は、いつもみんなに好かれていて、いつもいじめられていた人でしたが、あまりにも度が過ぎていました。そして、それをいじめだったと気付かなかった自分は、その写真をコピーして、ちがうグループに投稿してしま



【ポスターの部】特選
泗水東小3年 福屋舞さん

【詩の部】特選 気がつけば みんな友だち
七城中3年 ブラッドリー桜ミシェル
人を知れば知るほど空のように広がる
あなたの心
世界を理解すればするほど海のようにふかくなる
あなたの心
少しずつ心が育っていったら
ほら 気がつけばみんな友だち

ました。そのときの自分は、肖像権がどうかという知識もない状態でSNSをやっていたので、自分がいまやっていることはいじめだということ自体も分かりませんでした。そして、当然それが学年の問題になり、自分も投稿した人たちと一緒に怒られました。そのとき、初めて自分はいじめをしたんだと思いました。
そして、一通りの指導が終わわり、数日後、自分の親がいじめられた子に謝りたいということで、放課後に空いている教室で話し合いました。自分の両親は、必死に謝ってくれました。こんな自分のために、問題を起こして、部のメンバーに迷惑をかけ、親にも迷惑をかけた。しかも、勉強もさほどできず、運動も全然できない僕のために、両親は精一杯謝ってくれました。そのとき、親のありがたみがわかりました。どんなに嫌なことがあっても、いつも親が近くにいってくれました。
そして、問題が終わって1ヵ月後に、自分は自分がいじめた同級生にたまたま道で会いしました。自分は前から、今度会ったらまた謝ろうと思ってきたので「今回のことは、ほんとうにごめん」と言いました。それを聞いた同級生は、僕に「いろいろあったけど、これからもよろしく」と返してくれました。その瞬間、涙が出そうになりましたが、ぐっぐとこらえて、僕は同級生に「ありがとう」と言って別れました。そのとき自分は、今回の問題は自分の人生で、一番に残るものだと思います。それから、自分はいじめのようにならなくて良かったです。何気ない声かけでもいいので、声をかけるのが今の自分の目標です。

わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

絵手紙展～私たちの1年間の取り組み～ 夢美会

期間 3月17日(火)～29日(日)
上手に描くより、心を届けることに重きを置いて交流してきました。そんな1年間の集大成です。ぜひご来館ください。

和紙ちぎり絵 作品展 和紙ちぎり絵菊池サークル

期間 3月31日(火)～4月12日(日)
普段私たちが何気なく使っている紙、日本古来の和紙を大事に重ねちぎっての一枚。温かみのある作品をご覧ください。

まちかど資料館企画展「菊池市の六地藏菩薩展」

期間 ～3月29日(日)
県内にはおよそ400基の六地藏があるとされています。戦乱が続いた室町後期から地藏菩薩に対する信仰が高まり、救済の手を伸ばしてくれる菩薩として祭られました。その六地藏菩薩の中から、いくつかの形式、種類などを紹介していきます。

開館時間 午前9時～午後5時
※休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎0968(23)1155

菊池わいふのひなまつり

期間 ～3月15日(日)
折り紙教室や紙芝居などがあります。ストーンペイントなどの体験もできます。



後藤仁「創作ニット展」～かすりあみの世界～

期間 3月19日(木)～22日(日)
軽くて肌ざわりの良い綿の糸をかすりの技法で繊細に染め、手作りで1点ずつ編み上げたオリジナリティあふれる和テイストの創作ニットです。



坂田憲雄 寄贈絵画展

期間 3月24日(火)～4月5日(日)
本年で生誕100周年を迎える坂田憲雄さんの寄贈絵画による絵画展を開催します。



坂田さんの作品

開館時間 午前9時～午後6時
※期間中の閉館日はありません。

親子参加の農業・自然体験「おうち畑」

田植えから稲刈りまでの米づくり体験を中心としたプログラム「おいしい村づくり」。里山のおいしい食べ物や、自然に包まれて暮らす人々の知恵を、子どもたちが体を使って楽しみながら学ぶこともこの取り組みの目的です。
地元のおじいちゃん、おばあちゃん、お爺ちゃん、お婆ちゃん、農作業から加工食品づくりまで「親子で体験」しませんか。

開催期間 4～12月 毎月1回
参加対象 小学1年生以上の子どもとその保護者
参加費 日帰り 1人1500円
宿泊 1人2500円
料金は変更する場合があります。詳しくはお問い合わせください。



ピザづくり



川遊び



田植え

韓国発見シリーズ ④
ハングルは全部です



国際観光マネージャー 金相廷

2018年から韓国の小学生用教科書に漢字を併記

日本では小学校から漢字を教えるが、現在韓国では漢字を教えていない。この「ハングルのみ」と「漢字を併記」は長年の争点だった。そんな韓国に昨年9月24日、教育史上意味ある発表があった。教育部(日本の文科省)は「18年から小学校3年生以上が使う教科書にハングルと漢字を併記する法案を推進する」とした。

また「生徒たちに漢字教育が足りず、意思疎通などに問題があることを考慮した」として、18年には小学校3・4年生、19年には5・6年生の教科書に、漢字400～500字をハングルと併記する教科書執筆基準指針を用意するとした。

これで70年に漢字が小学校の教科書から無くなった「ハングル専用化」政策から、48年ぶりに小学校の教育現場に漢字が復活する可能性が見えた。

しかし、教育部の「18年、小学校漢字教育案」は漢文科目を新設するのではなく、既存の教科書の語彙にハングルと漢字を

併記するというものだ。漢字教育はあくまでも外国語教育の一環であり、決して外国語教育ではないと多くの専門家が強調している。なぜなら韓国語の語彙は70%が漢字語で、ハングルだけではその意味が分かりにくいからだという。
例えば、漢字が無ければ「ウイサ(義士)」「ウイサ(医師)」や「ヨンペ(連敗)」「ヨンペ(連覇)」などは理解するのが不可能だ。また、造語力のすぐれた漢字は一字一語を習得すれば多くの単語の意味が理解できる。「セン(生)」という言葉がより分かりやすい。

しかし、小学校の教科書に漢字を載せて児童に教える前に、解決しなければならぬ問題がある。現在の小学校教師のほとんどが漢字教育をともに受けていないので、まず教師への漢字教育が必要だ。多くの難題がある中、約50年ぶりに復活する漢字教育が子どもの国語力の向上に貢献することを願う。